

鎌倉市交通計画検討委員会専門部会

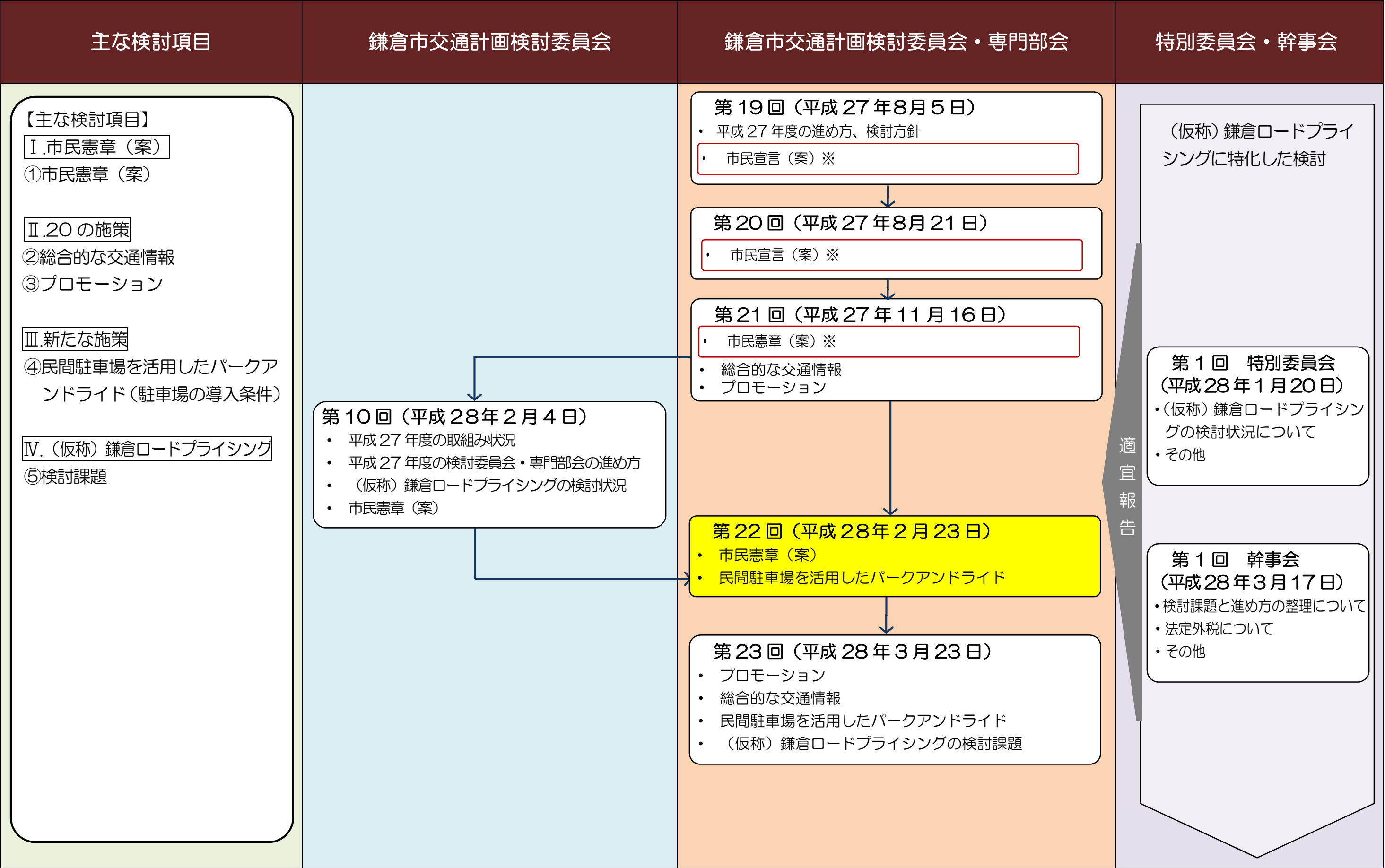
【第22回】

(目 次)

1. 平成27年度の取組み状況	1
2. 市民憲章（案）について.....	2
1) 第10回検討委員会の主な意見	2
2) 論点.....	3
3. 民間駐車場を活用したパークアンドライドについて	4

平成28年2月23日（火）

1. 平成27年度の取組み状況



☆第21回専門部会以降、市民宣言は市民憲章とします。

2. 市民憲章（案）について

1) 第10回検討委員会の主な意見

♠：当日の委員からの発言 ♣：委員長の発言 ♥：副委員長(部会長)の発言 ◆：委員会後の委員からの意見

◆ネーミング

♠市民に誤解を与えないように「古都鎌倉 交通憲章」、「鎌倉市交通憲章」に変えてはどうか。

◆構成

♠最終目的として「このような理念で行く」というものがあって良い。
今の環境がだめだという表記（前文）は不要で「市民と一緒にやっ
ていこう」という憲章の方が望ましい。

♣おそらく、そのような議論が過去にも色々あってこのような内容になっ
たと思われる。

◆本文

①「私たちの快適な生活環境に支障をきたすとともに、移動の自由が奪わ れている状況」について

♠来訪されることが迷惑であると読み取れ、違和感がある。

◆自由が奪われるというのは、束縛をイメージさせる。

⇒（提案）「私たちの快適な生活環境及び移動に支障をきたしている状況」

②「公共交通が利用しやすい」について

♠江ノ電等は利用しやすい公共交通ではないので、専門部会ではどのように
認識しているのか。

♥江ノ電に乗ることが観光なので、市民の代替交通としてバスが円滑に走れ
るようにすれば公共交通全体としての利便性は高まる。公共交通を総合的
な施策によって利用しやすくする必要があるので、目標に掲げている。

③「私たち自らが過度な自動車利用を控える」について

♠一番のポイントであり、括弧等で強調しても良い。

本文

赤文字：意見のあった箇所

【古都鎌倉 交通市民憲章 専門部会（案）】

古都鎌倉 交通市民憲章(案)

前文

私たちは、先人から受け継いだかけがえのない古都鎌倉の歴史的遺産や風土を、次代に継承すべく努めてきました。同時に、悪化する交通環境とも闘ってきました。

特に、古都鎌倉は鎌倉時代からの都市構造を今に残しており、自然的・歴史的環境の保全と道路整備の両立が難しい状態にあります。休日を中心に来訪車両が集中し、私たちの快適な生活環境に支障をきたすとともに、移動の自由が奪われている状況です。

古都鎌倉の歴史的遺産や風土を活かした世界に誇れるまちづくりを進めるために、徒歩と公共交通を中心とした交通環境をめざし、ここに「古都鎌倉 交通市民憲章」を定めます。

目標

1 「公共交通が利用しやすく、歩いて楽しい、賑わいと活力のあるまち」

1 「子供や高齢者にやさしい、安全・安心なまち」

1 「市民と来訪者が共存でき、楽しく触れ合えるまち」

このまちづくりに向けては、私たち自らが過度な自動車利用を控えるとともに、古都鎌倉の交通に関わりのある多くの人たちの理解を得て、ともに手を携えて進めます。

鎌倉市

2) 論点

第10回検討委員会の意見を踏まえ、以下の点について議論します。

- ①「古都鎌倉 交通市民憲章」のネーミングを変えるか。
- ②目標を強調する場合はどのように強調すべきか（以下に事務局案を提示）。
- ③本文の修正が必要か。
 - ・「私たちの快適な生活環境に支障をきたすとともに、移動の自由が奪われている状況」
 - ・「私たち自らが過度な自動車利用を控える」を強調する

目標を強調する方法（事務局案・その1）

体言止めを改め、例えば、「わたくしたちは～をめざします」を付け、目標達成に向けた決意を強調します

A 案

- 1 **わたくしたちは、公共交通が利用しやすく、歩いて楽しい、賑わいと活力のあるまちをめざします**
- 1 **わたくしたちは、子供や高齢者にやさしい、安全・安心なまちをめざします**
- 1 **わたくしたちは、市民と来訪者が共存でき、楽しく触れ合えるまちをめざします**

B 案

- 1 **わたくしたちは、公共交通が利用しやすく、歩いて楽しい、賑わいと活力のあるまちをつくります**
- 1 **わたくしたちは、子供や高齢者にやさしい、安全・安心なまちをつくります**
- 1 **わたくしたちは、市民と来訪者が共存でき、楽しく触れ合えるまちをつくります**

目標を強調する方法（事務局案・その2）

目標の達成に向けた取り組み方や心構え等を追加した別紙を作成します
例)

わたくしたちは、公共交通が利用しやすく、歩いて楽しい、賑わいと活力のあるまちをめざします

- 交通渋滞を解消し、バスやタクシーがスムーズに走れる交通環境を整えます。
- より快適で移動のしやすい公共交通ネットワークを充実させます。
- 自動車交通量を減らし、歩道機能を強化し、歩行者ネットワークを整えます。

わたくしたちは、子供や高齢者にやさしい、安全・安心なまちをめざします

- 人と車が共存できる道路ネットワークを整えます。
- バリアフリーに優れた交通環境を整えます。
- 生活道路では、流入交通量を減らし、居住環境を高めます。

わたくしたちは、市民と来訪者が共存でき、楽しく触れ合えるまちをめざします

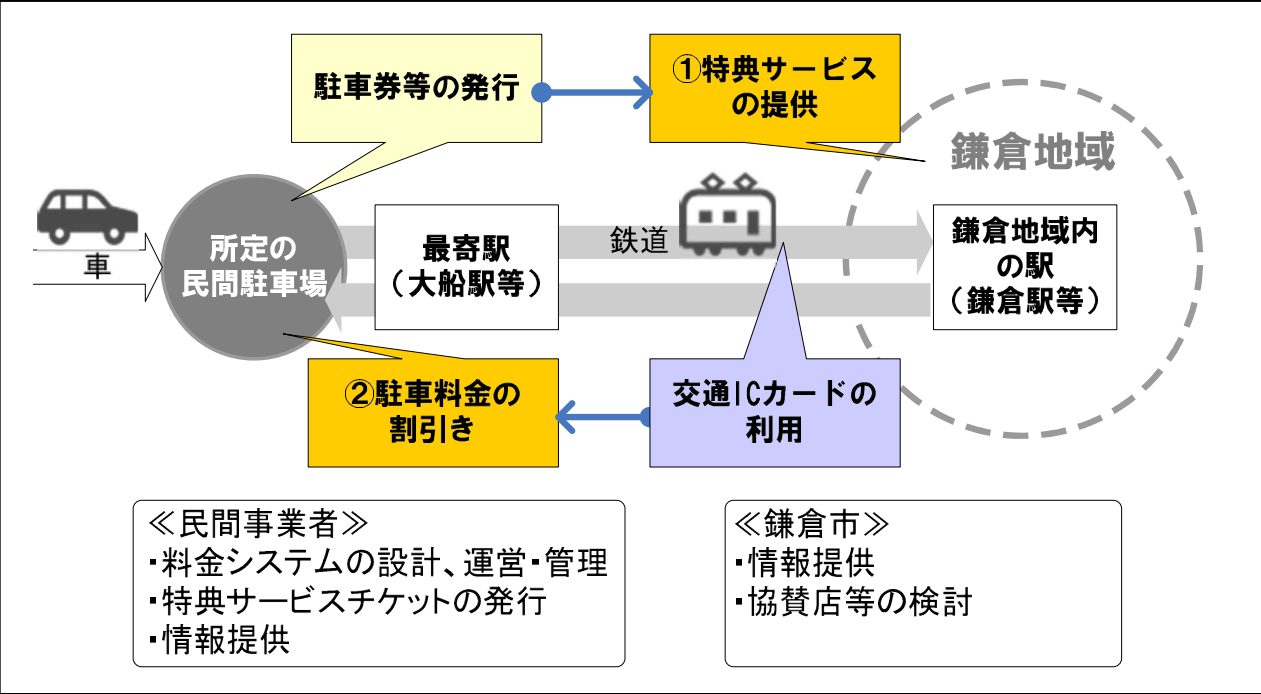
- 観光都市として、来訪者をもてなす気持ちを大切にします。
- より良い交通環境づくりに向け、自らできることに取り組んでいきます。

3. 民間駐車場を活用したパークアンドライドについて

民間駐車場を活用したパークアンドライド（事務局案）について、議論します。

- ・ 民間駐車場を活用したパークアンドライドは、「鎌倉地域の地区交通計画策定に向けた中間とりまとめ」において、新たな公共交通への転換施策の1つとして位置づけられています。
- ・ 現在、鎌倉市が実施しているパークアンドライドは、設置場所が国道 134 号沿道に限られていることや、夏期は休止していること等の課題があります。
- ・ こうした課題への対応として、大船駅周辺等の民間駐車場を活用したパークアンドライドを検討します。
- ・ 考え方のイメージは下図のとおりであり、基本的には民間事業者が実施主体となり、鎌倉市は情報提供等の役割を想定しています。

民間駐車場を活用したパークアンドライドの考え方のイメージ



サービスの受け方

《イメージ図》

優待対象の電車等を利用したICカードを精算機にかざすだけで、タイムズの駐車料金が優待されます。
※出庫当日に駅道等を利用された方に限ります。



出典：タイムズ 24 株式会社 ホームページ

民間駐車場を活用したパークアンドライド（事務局案）

- 鎌倉市のパークアンドライドは、公共交通の利用促進策として、基本的には鎌倉市が主体的に進めるものの、課題への早期対応に向け、民間と協働でその補完施策を検討する。
- 鎌倉地域の外側の駐車場に車を止め、交通 IC カードを使用して大船駅等で鉄道に乗換え鎌倉地域を来訪する利用者に対し、民間事業者が提供する駐車場の料金引ききと特典サービスが受けられる。（駐車場の精算機で鎌倉地域内の対象駅の利用記録を確認し、駐車料金を割引く）

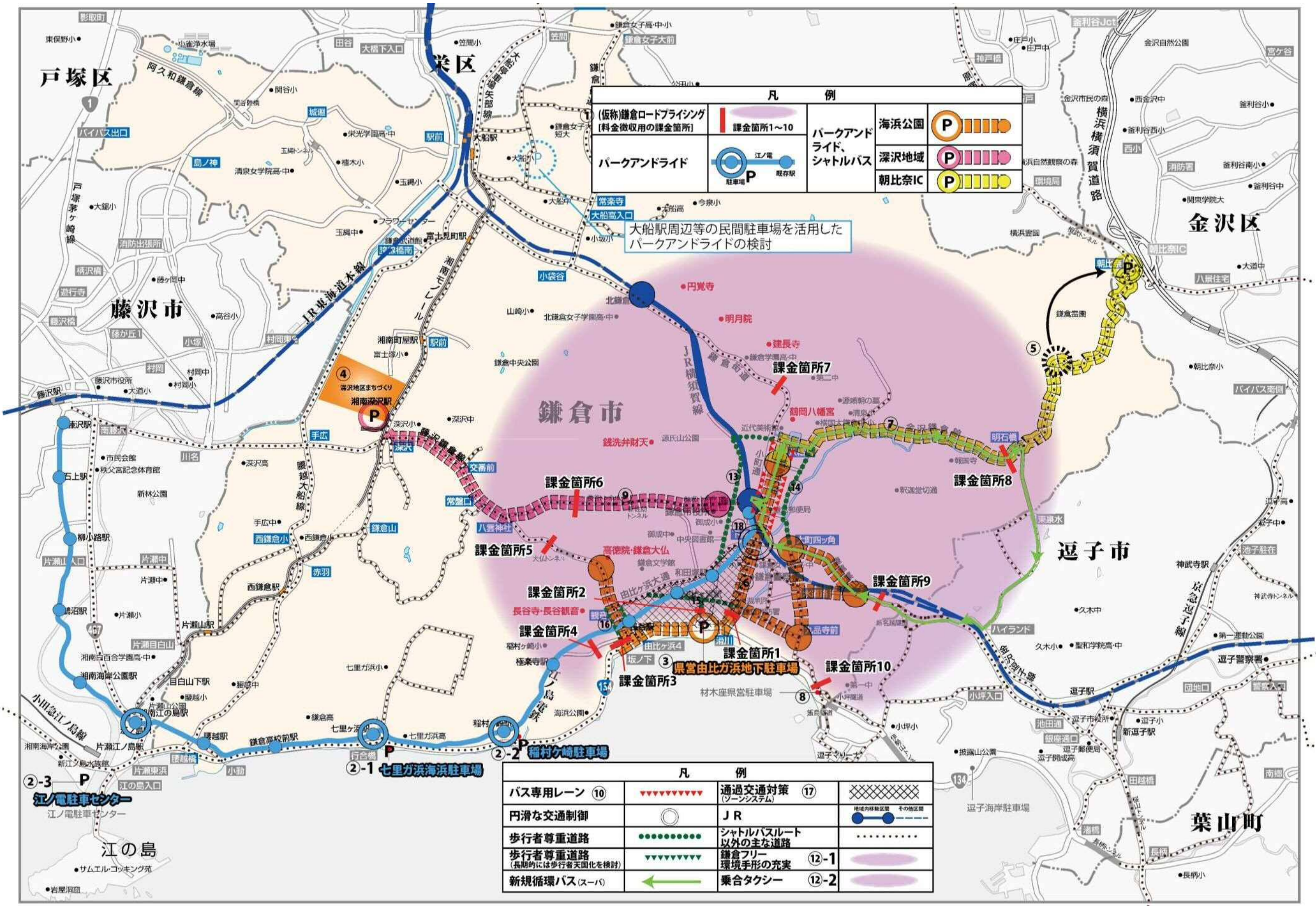
項目	内容
実施主体	民間事業者
実施日	土日祝日
対象駐車場	鎌倉地域の外側に位置し、鉄道駅まで歩いていける民間駐車場
規模	概ね 50 台※
対象駅	鎌倉地域内の駅 JR 東日本：鎌倉駅、北鎌倉駅 江ノ島電鉄：鎌倉駅、和田塚、由比ヶ浜駅、長谷駅、極楽寺駅
割引きサービス	・ 交通 IC カードの使用者 ・ 駐車料金の割引（民間事業者が独自に設定） ・ 特典サービス用のチケットは駐車場の精算機等で発行可能な駐車証明書等を活用
情報提供	・ 駐車場の位置、料金、リアルタイムの満空情報等を民間事業者がホームページ等で提供 ・ 対象駐車場、駐車料金等が不定期に変更する可能性があることから、鎌倉市は情報提供の方法を検討

※）既存のパークアンドライドの平成 26 年度の 1 日の平均利用台数 10～25 台/箇所

図.20 の施策及び新たな施策の計画図

※民間駐車場を活用したパークアンドライドは大船駅周辺を想定

課金箇所等の位置は決定したものではなく、今後詳細を検討します。



【民間事業者とのヒアリング結果】（一業者）

質問	回答
パークアンドライドに期待する効果	稼働率の向上。
駐車場の継続期間、オーナーとの契約	オーナーとの契約は、基本的に2年間。但し、駐車場は暫定利用であり、オーナーから契約期間中に解約を申し込まれることもある。
複数の駅やバス停を対象にすること	鉄道駅はコード（番号）を持っていることから、技術的に様々な乗降パターンへの対応が可能。バスも可能であるが、バス停はコードを持っていないため、独自のソフト開発が必要であり、経費がかかる。
対象駐車場	駅からやや離れた駐車場の方が、一般的に稼働率は低いことから、パークアンドライド駐車場としての見込みがある。 比較的規模の大きな駐車場が良いが、過去に一定期間、複数の小規模の駐車場を対象に、駐車券を商業施設に持って行くと商品券を渡すサービスを実施したことがある。商品券代は商業施設側の負担。
駐車料金の割引	駐車料金を割引いても稼働率が上がり収入が増えないと事業として成り立たない。どの程度の期間で回収するかにもよるが、実績としては、最大で200円の割引。
駐車場の精算機で特典サービスのチケットの発行	駐車証明書を発券することは可能であり、それにデザインして、特典サービスが受けられるチケットとすることが考えられる。
リアルタイムの満空情報の提供	現在も駐車場の満空情報を出している。 80%未満：「空車」、80～99%：「混雑」、100%：「満車」
計画の実施に向けた主な課題	交通ICカードの対応に向けた機器の入れ替え サービスチケット、発券機の設置等